

令和4年度 第2回 清瀬市男女共同参画センター運営委員会 議事録

日時:令和5年2月10日(金) 午前10時~12時

会場:生涯学習センター 講座室4

委員出席:9名

福田委員長、高宮副委員長、木村委員、荒木委員、矢澤委員、山我委員、松山委員、今村委員、渡辺委員

委員欠席:3名

鎌田委員、牧野委員、尾崎委員

事務局:原口センター長、西浦センター長補佐、小林専門員

議題

【令和4年度の事業報告】

事務局より内容説明を行った。事業報告参照

事務局からの補足

会議は、コロナ禍でもオンラインを利用するなどして予定通り実施できている。講座の参加者数を増やすためのインターネットでの申込みを必ず行うようにしている。すべてではないがオンラインでの講座も実施している。

パートナーシップ宣誓制度について、東京都が制度を開始したことに伴い、清瀬市での制度についての話し合いは休止している。12月議会で市営住宅等の入居資格が条例改正された。

委員

カフェきよにじの参加人数が少ない理由は

事務局

事前予約制ではないため、当日にならないと参加者数がわからない。市報やHPなど必ず載せている。

委員

事業のチラシを学校の保護者などに配るのはどうか。

事務局

今、センターでは企業や近隣大学にチラシなどを用いて広く周知している。若年層の居場所づくりなど教育委員会を通して学校に配布依頼をしたものもあるが、

他組織であり、調整が必要である。チラシの作成を速めていきたい。

委員

子どもに関連した団体をお願いして配ってもらうのはどうか

事務局

それは可能だと思う。例えば ピッコロの出している情報誌「ピッコロ通信」にもアイレックの事業について記事を載せるなど、新たなターゲットに向けてアンテナを張り情報発信をしていきたい。新しい参加者の開拓に努めている。

委員長

講座後のアンケートで、どこから情報を得たか聞いているか

事務局

実は市報を見てという方が、最も多い。市報にできるだけ QR コードを載せて、詳しいことはそちらをご覧くださいと、誘導している。

委員

若年層とは何歳くらいを対象としているか

事務局

10代から23歳未満を対象としている。当事者を対象とした居場所事業は今年度2回行っており、周知もお願いした。

居場所事業を連携事業で行っている理由は地元よりちょっと離れた場所のほうが参加しやすいためである。

委員長

事業計画について、質問や意見はあるか

委員

アイレックまつりでは、アイレックの特色を生かした企画を行うことを希望する。

事務局

次回のアイレックまつりの実行委員会が来週ある。日にちは10月7・8日と決まったが、内容についてはまだこれから決めるところである。委員会で意見を伝えたい。

委員長

カフェきよにじとLGBTQの講座に関連性はあるか

事務局

カフェきよにじは、奇数月の第2土曜日に、当事者・そうかもしれない人・アライが集まる居場所事業であり、講座はアライを増やすことを目的とした、理解促進事業である。

委員長

カフェきよにじは毎回テーマがきまっているのか。

事務局

登録団体に運営と一緒にしていただいている。その回ごとにテーマを決めて、皆さんでテーマに沿って話している。カフェきよにじは令和3年度から継続して行っている。

【令和5年度の事業計画】

事務局より内容説明を行った。事業計画・事業関係資料参照

【アイレック相談の変更について】

事務局より内容説明を行った。

委員

すごくいいと思う。女性に特化した相談を受ける場所が必要。

委員

今まで男性相談は受けていなかったのか

事務局

基本、男性相談は受けておらず、一般相談の電話相談のみ受けている。昨年の実績は1件。女性が相談を受けやすいように女性の相談員を配置しているので、男性の相談はお断りしている

委員長

男性もDVやパワハラをうけている方もいるようだが、アイレックでは今後も女性のみとするのか。

事務局

他市でも男性相談を始めているところもある。男性相談は加害者側となることもあるので「誰を対象に」「どのように」相談を行うのか精査しながら進めていく必要がある。アイレックでの男性相談は模索中である。

委員長

最初からDVを受けていると相談に来る人ばかりではなく、相談をしていく過程で気付くひともいるだろうし、ハードルを低くすることで、相談を受けやすくなると思う。また、日程もわかりやすくなった。

【コワーキングスペースことりばについて】

事務局より内容説明を行った。

委員

商工会の事務局が戻ったら、ことりばも戻るのか

事務局

商工会の事務局は戻らないと聞いている。ことりばに関しては、暫定的に4階へ移し利用者にどれだけ有用であったか検証した上で、その後どうするかを判断する。来年の3月31日までは4階で運営をする。

委員

相談室もあるので、顔を見られたくない相談者が相談しづらくなるようなことはないか。

事務局

現在もサポーターが活動する際は、衝立を立てたりして目が合わないようにしている。導線が被らないようにいくなど、相談員とどうすればいいか相談していきたい。

委員

コワーキングスペースの定員は何人か

事務局

いま、座席は22席であるが、移った後は20席程度になる。外から中の様子が見えるよう工夫をしたい。

委員

扉の新設とあるが、扉は必要か

事務局

有料の施設を無人で運営しており、扉の開け閉めにより料金を計算しているため、扉は必要である。

事務局

ことりばがなくなることの利用者への影響、また、ことりばがあることがどれだけ有益かについてアンケートを取るなどして来年の今頃、市の考えなどを皆さんにお示ししたい。

委員長

次回の運営委員会が5月以降であれば、ことりばの移設は終わっているので、利用者へのアンケートなどしてみてもいい。

事務局

ことりばの移設に伴って変更する、センターの利用方法について市民参画で詰める必要がある。

委員

運営委員会自体が、利用方法などを話し合う場であるので、課題があれば、それをまとめて運営委員会の場で皆さんの意見を聞き、解決していけば良いと思う。

<委員から生涯学習センターへの要望>

委員

男性を対象とした事業が行われていないようだが・

事務局

計画はしているのだが、そのタイミングでコロナの感染者数が増えることが続いて開催できていない。

事務局

説明のあった DANKATU は団塊の世代を対象とした講座を計画しているので、イクメン世代の DANKATU チームも作りたい。